

# ATO-KAI RECRUITING 2021

あと会グループ2021年度 採用パンフレット

人生に

喜びと感動を

あと会 3Yのこころ  
ATO-KAI's 3Y spirits

やすらぎ  
Yasuragi Peace

豊かさ  
Yutakasa Richness

喜び  
Yorokobi Happiness



## 安佐北区エリア

とても贅沢でおしゃれな個室ユニット ふかわ・くにくさ

- 広島市内中心部から車で約30分
- 主な通勤エリア：安佐北区全域・安佐南区東部・東区・府中町

### サービスつき高齢者向け住宅 ふかわ・くにくさ

- サービスつき高齢者向け住宅 (32名)
- デイケア (40名) 2単位目
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 夜間対応型訪問介護 ■ 訪問介護
- 訪問看護



〒739-1752  
広島市安佐北区上深川町186-1  
TEL082-840-1840

### 介護老人保健施設 ふかわ・くにくさ

#### ユニットリーダー実地研修施設

- 介護老人保健施設 (100名)
- ショートステイ (空床利用)
- デイケア (40名) ■ 居宅介護
- 訪問リハビリ



〒739-1752  
広島市安佐北区上深川町186-1  
TEL082-840-1840

### なかお内科消化器呼吸器クリニック横山外科胃腸科

- 診療所 ■ デイサービス (30名)



〒739-1732  
広島市安佐北区落合南一丁目11番22号  
TEL082-843-1212

## 出島エリア

あと会の集大成 河口の風景が広がる都市型施設

- 広島市内中心部から車で約15分
- 主な通勤エリア：南区・中区・東区・西区・安佐南区・安芸区・府中町・佐伯区

### 介護つき有料老人ホーム・特別養護老人ホーム でじま・くにくさ

- 特別養護老人ホーム (90名)
- ショートステイ (10名)
- 介護つき有料老人ホーム (40名)
- デイサービス (40名)
- 居宅介護



〒734-0013  
広島市南区出島一丁目18番17号  
TEL082-256-9293

### 宇品・くにくさ介護相談センター

- 居宅介護
- 訪問介護



〒734-0005  
広島市南区翠五丁目7番17号  
TEL082-236-9293

# 事業所概要

4つの拠点に34の事業を展開しています。

あと会は広島市内に複数の施設・事業所をもっており、大きく4つの拠点に分けられております。それぞれが特徴を持ったエリアとなっていますので、スキルや経験に応じた勤務が可能です。

例えば、特養(従来型、ユニット型)、老健(従来型、ユニット型)、介護つき有料老人ホーム、グループホーム、小規模多機能、デイサービス、デイケア、訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、地域包括などの様々な介護サービスを提供しています。

## 阿戸エリア

あと会の創業の地 一から介護を学べる施設

- 広島市内中心部から車で約40分
- 主な通勤エリア：安芸区全般・東広島市・呉市・熊野町・府中町・海田町・坂町

### 特別養護老人ホーム くにくさ苑

- 特別養護老人ホーム (84名)
- ショートステイ (16名)
- デイサービス (40名) ■ 居宅介護



〒731-4231  
広島市安芸区阿戸町418-1  
TEL082-856-0222

### 老人保健施設 りは・くにくさ

- 介護老人保健施設 (80名)
- ショートステイ (空床利用)
- デイケア (40名) ■ 地域診療所
- 訪問リハビリ



〒731-4231  
広島市安芸区阿戸町485-1  
TEL082-856-0600

### グループホーム くにくさの家

- グループホーム (9名)



〒731-4231  
広島市安芸区阿戸町2941-1  
TEL082-820-8088

## 矢野エリア

北欧風のグループホーム、小規模多機能型居宅介護

- 広島市内中心部から車で約20分
- 主な通勤エリア：安芸区全般・呉市・熊野町・府中町・南区東部・海田町・坂町

### 小規模多機能型居宅介護事業所 やの・くにくさ

- 小規模多機能居宅介護
- 訪問介護
- 訪問看護



〒736-0083  
広島市安芸区矢野東二丁目4-8  
TEL082-888-9007

### グループホーム ダーラナ やの・くにくさ

- グループホーム (18名)
- デイサービス (18名)



〒736-0083  
広島市安芸区矢野東六丁目9-28  
TEL082-889-6668

### 広島市阿戸・矢野地域包括支援センター

〒736-0083  
広島市安芸区矢野東六丁目23番15号  
TEL082-889-6605



あと会では、すべての事業所・施設に「くにくさ」という名前をつけています。「くにくさ」とはあと会グループの介護の発祥の地 特別養護老人ホームくにくさ苑の字名です。地域のみなさんに「くにくさ」なら安心、「あと会」なら大丈夫と信じていただけるブランドを作り上げています。そしてそのブランドを支えるのは、人財育成であるといっても過言ではありません。

## 法人研修・施設内研修

あと会では、職種に限らず、1年次、2年次、3～5年次、管理職とそれぞれの節目に行う「階層研修」、介護福祉士・社会福祉士・ケアマネの受験対策講座、海外から取り入れたタクティール・タッチ研修や医療ケアにあたる喀痰吸引等研修を行っております。一からは始める新入職員のように基本から学べる研修からより専門的なスキルアップをしたい職員の研修とさまざまな研修を用意し、真のプロフェッショナルを目指します。



年間 件数 ..... **258**件  
参加人数(延べ) ... **2,913**名

## 現場での研修

あと会では、現場での研修も行っております。新しく入職された方は数ヶ月のスパンで、先輩社員と同じシフトに入ってもらい、相談しながら、独り立ちをすることを目指しております。また、相談職はある程度の期間、介護現場を経験してもらい、相談職についてももらいます。それはご利用者さんの生活をイメージしながら、相談業務に行っていただくためです。現場にいる間に、一週間ほど相談員と一緒に行動していただき、業務の進め方を学ぶ「たまご研修」もあり、現場での経験を実際に活かす体験もしていただきます。現場での研修としては基本的な生活支援における知識をはじめ、最新の福祉機器の使い方など実践的な研修も行います。各専門職ごとで行う部会ごとの活動も盛んに行っております。



## 外部講師・法人外研修

あと会では、本物に触れていただき、より深い知識を身につけてもらうために、その道のスペシャリストを日本のみならず海外からも講師を施設に招いて実施する特別外部研修を実施しております。スウェーデンの医師を招き、認知症ケアや北欧の施設運営の研修や、リスクマネジメント、接遇のプロフェッショナルを招き、その道の専門的な研修を行っております。まだ触れたことのない知識・経験をあと会では体験することができます。また、手上げ式で施設外研修も参加してもらっており、学びたい気持ちを実現する体制を整えております。(平成30年度実績 年間180件、211名参加)



年間 件数 ..... **224**件  
参加人数(延べ) ..... **284**名

### pickup 研修 喀痰吸引等研修

平成24年4月から介護職員等による喀痰吸引等が一定の条件の下で実施できる制度が導入されました。特別養護老人ホームでじま・くにくさは研修登録機関として、広島県に登録しています。講義、演習、実地研修を実施しています。医療的ケアを身につけてステップアップをしていきましょう。平成29年度より開催し、58名の方が修了しています。あと会では修了後、登録も行ったら、月に3,000円の職務手当を支給します。



## 新人研修は新しい職場での人間関係構築の場

私は新人研修を受けてみて、入社する前に学校で習ったことの復習や、新しく知識を得るだけでなく、新しい環境での人間関係を構築できる場だと感じました。毎日席替えがあり、色々な職員と隣になって研修を受けました。そのため、これから同じ職場で働く人々とコミュニケーションをとる良い機会になりました。実際に、現場で働き始めてすぐの頃は、近くに話をできる人がいると思うと心強かったです。

村上 遥  
(特別養護老人ホームくにくさ苑 / 介護職員)



## 新人の頃感じた大切なことを忘れない

新人研修では、仕事のやりがいや、面白さだけでなく、人の命にふれることの怖さや、覚悟についてももしっかり学びました。実際、現場に出てみると、うまくいかないことや、「怖い」と思うことばかりで、「自分がこの仕事に携わっていいのだろうか。」と落ち込んでしまうこともありました。しかし、先輩からの「できなくて当たり前。怖いと思った方がいい。」というアドバイス、そしてご利用者様からの「わしらが世話になっとなのに何を落ち込む必要があるんか。」という

言葉に勇気をもらいました。怖いこと、つらいことはたくさんあると思いますが、それだけ自分に返ってくるものは大きいと思います。新人の頃感じた大切なことを忘れず、「常に初陣」の心構えでいることが大切だと思います。

岡崎 悠希  
(特別養護老人ホームでじま・くにくさ / 生活相談員)



## リスクマネジメント講座



烏野 猛先生

皆さん、こんにちは。私は法律や危機管理を専門としていることから、あと会様の研修では、「介護事故が起こった場合、どうすればいいの…?」、「豪雨によって土砂災害が発生したような場合、私たちはどうすればいいの…?」、「利用者様やそのご家族様に、どう説明すれば、思いが伝わるのかしら…?」といった現場スタッフからの質問や疑問に対し、演習を含めた研修を年間を通じて実施しています。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3密（密集・密閉、密接）を避けるように言われていますが、介護現場ではスタッフと利用者様との密なる関係を大事にしていることから、このご時世、対応に戸惑うこともあります。すばらしいあと会スタッフの皆さんと一緒に、この有事乗り越えたいと思っています。



## ドイツターミナル研修

「ターミナル研修～ドイツでは「死に逝く人の付き添いを学ぶ」と表現します。」  
(身体的)介護ではなく、感情的および社会的な付き添い



Aristide Proksch先生

私はドイツ・ベルリンでAWW 在宅ホスピス事業のコーディネーターとして活動しています。この在宅ホスピス事業所では現在、60人のボランティアが約50人の致死の病の診断を受けた人およびその家族に付き添っています。これに加え約30人の人のグリーフケアも行っています。

皆さんとこの研修を共に体験できることをとても嬉しく思います。この研修の中心にあるのは、参加者自らの体験と、感情と人生における重く難しい状況と付き合う能力の向上です。

ドイツでは緩和ケアの専門医、病院、介護施設の他、初めて広島のあと会と提携させていただいています。今後も協力させていただけることを幸せに思います。介護・看護分野で活動される方々をよろこんで支援させていただきます。



コーディネーター兼通訳  
吉田恵子さん

参加者の皆さんと講師のプロクシュさんの会話の通訳の中で、死と直面する人への対応がいかに難しく、精神的な重圧になるものなのかを、間接的ながらも痛感しています。一方、参加者の皆さんは、ホスピス・ボランティアの教育者でありまた家族療法士でもあるプロクシュ講師に導かれながら、その解決策を自ら見つけていけます。参加者の方々が『自ら道を見つけ前進されていく姿』にはいつも感動させられます。求められているのに日本で学ぶことが難しい技能であることから、ドイツの同研修を即導入された横山常務理事、その実施を取り仕切られている岡崎本部長をはじめとするあと会の皆様とお仕事させていただけることを、とても光栄で嬉しく思っています。



## 笑顔と感動を創る接遇マナー研修



濱島しのぶ先生

私は、「とにかく分かりやすく接遇を伝え、現場を感動と笑顔に変える接遇アドバイザー」の濱島しのぶと申します。あと会さまとは、もう10年来のおつきあいになります。新任職員研修、中堅職員研修、役職者研修など層別の研修と、現場のラウンドや夜勤同行などの実践的アドバイスをさせていただいております。

接遇はビジネスマナーとは違い、カタチだけを整えるものではありません。利用者様、ご家族、スタッフ間の方々にどうしたら喜んでもらえるのか、どう心を動かしたら幸せと感じていただけるのかを考案する姿勢をお伝えしております。あと会さまがとても大切になさっているまさに“輝きと感動”を創ることが、接遇なのです。これからも一緒に頑張って参りますので、どうぞ、よろしくお願致します。



あと会グループでは、2000年から福祉先進国スウェーデンとの交流を行っています。

そして、2008年よりスウェーデン、リンデシュベリイ市、2012年よりボロース市と、2016年よりパティレ市と、2019年よりブーレブ市と人材交流を目的とした協定を締結し、スタッフがスウェーデンの最先端の福祉を学ぶ環境を作りました。

あと会スタッフがスウェーデンの現場で働くだけでなく、スウェーデンからもあと会にスタッフを派遣してもらい、あと会グループに最先端の情報と大きな刺激をいただいています。



2019年11月6日 ブーレブ市と提携

## スウェーデン研修



実習先の施設は緑が多く自然豊かな所に建てられており、印象的だったことは1日がとてもゆったりとしていたことです。家具は西欧らしいものが多く温かみがあり、中庭やベランダ、フロア内の飾りなど工夫もされており、こういった空間の工夫が入居者が安心して過ごせる理由のひとつだと思うと共に、環境づくりについて改めて考えるきっかけにもなりました。また、こういった環境づくりや日々の関わり方など職員自身も楽しみながらすることで、お互い良い時間を過ごすことができているのだと感じました。

研修を通し、ケアの在り方について様々な面から改めて考えていきたいと思いました。

【りは・くにくさ 山下 涼子】

スウェーデンでの研修は、多くのことを学ぶ事ができ、文化についても知る事ができました。一番印象に残っている事は、入居者が自分の家の様にリラックスして過ごされていた事です。自由に行き来する事ができる庭やベランダがあり、居室内に置かれている物は家から持ってきたものがほとんどだった為、落ち着ける空間が作られていました。また、職員とも気軽にカフェやアクティビティを楽しんでいる姿をよく目にしました。職員の方は時間に追われる様子なく、ゆったりと入居者と一緒に座って過ごしている様子が印象的でした。私達の休日には観光もさせて頂きとても充実した日々を過ごす事ができました。

【りは・くにくさ 川本 愛稀】



## ドイツ交流～ボランティア受入～



でじま・くにくさで6ヶ月間ボランティアとして働いて、とても楽しい時間を過ごしています。職場の人達は、大変優しく、とても歓迎してくれています。彼らと仕事をするのは楽しいです。また、入居者の方達から多くのことを学んでいます。皆様の人生経験や日本の文化について教えていただいています。ここで素晴らしい日本の思い出を作っています。8月までの残りの時間も楽しみにしています。ボランティア終了後、また、ここに訪れたいです！

【スーザン・トパー】

でじま・くにくさでボランティアをしています。日本に住んで7か月、入居者様や職員の方から日本の文化や働き方について多くのことを学びました。職員のみなさんは私をよくフォローしてくださり、どうするのか分からない時に私の質問にいつも答えてくれるので有り難く思います。ようやく日本の生活に慣れてきたので、ドイツに帰ることを考えると悲しくなります。日本での残りの時間も頑張りたいです。

【アニカ・エスケンス】

## 海外からのお客様

「ご利用者様にいい暮らしをおくってもらいたい・よいケアをした」という同じ志を持った方々が国境を越えて、お越しいただいております。ヨーロッパの国々をはじめ、中国、台湾、ベトナムなどさまざまな国の方を毎年数十名受け入れております。海外にない日本独自の文化やあと会としての利用者様への想いを言葉は通じなくても、肌で感じていただいております。



## 各事業の取り組み

# サービス事例

あと会は広島市内で33の事業所を持っており、そのサービスに応じて、さまざまな特色を持っています。そこで、平成29年度より、あと会グループの全部門がそれぞれの取り組みを発表する、事例発表大会を開催しています。がんばった成果を発表する場ができれば、仕事に対するモチベーションもアップします。



### 【事例1】非常食の見直しについて(あと会グループ 栄養課)

近年、毎年のように「数十年に一度」や「観測史上初」と表現される大雨が発生し、大きな被害をもたらしています。

ここ最近でいえば、一昨年7月に発生した西日本豪雨災害。広島県、岡山県などに甚大な被害をもたらし、水害による死者が100人を越えたのは、平成に入って初だったそうです。くにくさ苑でも床上浸水、断水が起きました。

今年も九州北部で起こった集中豪雨、関東で起こった台風19号など自然災害が相次いでおり、またいつ発生するかわかりません。そこで、あと・ふかわ・でじまの栄養課で協力して、非常食についての見直しを行いました。

課題として、非常食を調理してしたことがない、アレルギー対応がない、副食で一部ニーズに対応できていないものがあるなどがあがりました。

そこで、各施設から栄養課スタッフに集まってもらい、災害時を想定し、くにくさ苑で実際に炊き出し訓練や食事形態の見直しなどを行いました。

このような取り組みを行うことで、①実際に炊き出し訓練を行うことで、必要物品、調理工程、調理時間等を把握することが出来ました。②食事形態別に主食・副食の内容を見直したことで、食べ易さが向上しました。また、食事形態別にエネルギー量を算出したことで、極刻み・ミキサー食ではエネルギーが確保し辛いことが判りました。

そこで、新たに「ローリングストック法」という備蓄方法を取り入れることで、普段から使用しているもので、無理なく不足エネルギーが補えるようにできました。③缶詰の内容を魚のみから、肉も取り入れ、魚・肉どちらのアレルギーにも対応できるようにしました。④災害時、ストレスにより、エネルギー消費量が上昇することが予測されるため、エネルギー代謝に関わるビタミンB群を補えるよう、栄養強化食品(普段から使用しているもの)を備蓄に追加しました。

さまざまな取り組みを見直すことで、今後、起こりうる災害への対応・対策を行うことができました。



### 【事例2】看取りに関する職員の意識改革(くにくさ苑)

年々、くにくさ苑での看取りを希望される方は増えてきており、入所者の90%を超えています。それと同時に介護職員からの看取りに関する不安の声も多く耳にします。「後悔の残る看取りになってしまうのではないか」という危機感がありました。

そこで、まずは職員対象にアンケートを実施しました。そこでは、たくさんの方の不安やもっと知りたいという声もあり、委員会を立ち上げ、月に1回、意見交換や研修を実施しました。また、看取り期に関するマニュアルも作成し、どんな職員でも看取り期に必要なことがわかり、必要なサービス提供を行える環境づくりを行いました。また、カンファレンスについても、看護職員と家族が中心に行っていましたが、そこに様々な職種が加わり、利用者を取り巻く様々な方が後悔なく看取り期を過ごせる取り組みを始めました。

ある利用者様がくにくさ苑での看取りを希望し、病院を退院してこられました。その時、予後は残り1ヶ月と言われていました。そこで、その利用者が住んでいるグループだけでなく、グループや職種の域を超えて、カンファレンスを開催し、家族の希望である「もう一度、家族で食事をしたい」という希望を支援しました。仕事のため、帰りの遅い

娘さんのために、ご利用者様の1日の状態を記した交換日記を開始したり、日頃、一緒に支援を行っていた職員が行ったくにくさ苑でのウェディングに参加して、普段は食事が1割しか召し上がられないのにケーキをべろりと召し上がったりました。また、娘さんと握り地蔵を一緒に作ったりされました。そして、高熱が続き、酸素が必要となった時期に主治医の許可を得て、家族での食事会と一時帰宅をおこなうことができました。そして、その10日後に、娘さまに見送られながら、ご永眠されました。看取り期への理解が深まることで、職員の意識改革ができ、温かい最後が迎えられる環境を整えることができました。



## スタッフの声

あと会の職員はどんな毎日を過ごしているのでしょうか？  
若い専門職たちの今のお届けします。

社会人になってからは、仕事もちろん大切ですがプライベートも大切です。あと会では、法人理念である「やすらぎ・ゆたかさ・よろこび」3Yのころを職員の毎日の生活でも感じていただきたいと思っています。何事にも前向きにチャレンジする職員たちをあと会は心から応援しています。

### 心強い先輩のサポート！

長田 洋介(介護老人保健施設ふかわ・くにくさ 支援相談員)

今後の将来に対して不安に思っている時に味方になってサポートしてくれたのが、あと会の先輩方でした。

相談員として働いていく中で分からないことがあれば丁寧に教えてくださり、困っていれば「大丈夫？」などと声をかけてもらい、助けてもらうことが多々ありました。施設の役割として病院から自宅に帰るまでをどのように支援していくことが望ましいか迷うことがあれば相談に乗ってくれる先輩方も身の回りにいてくれる職場になっています。職場の環境が整っていれば大きな壁にぶつかっても乗り越えて行けると思います。



### 日々学びと喜びがあります。

北瀬 茜(介護老人保健施設ふかわ・くにくさ 介護職員)

福祉の仕事は未経験で「私に出来るのかな？」と不安な事もありましたが、分からない事を先輩方に教えて頂き、日々出来る事が増えてきて、入居者様に「あなたが居てくれてよかったよ。ありがとう」と言われた時に、ここで働く喜びを感じました。

介護の仕事は常に考え続けて行かないといけないと学ばせて頂きました。入居者様のケアに携わらせて頂く中で、入居者様から学ぶ事が沢山あります。

日々勉強をさせて頂いています。介護の仕事だけではなく、日々いろいろな方と関わっていく中で、まずは相手の立場になって考える事、初心を忘れずこれからも入居者様のケアに努めて参りたいと思います。



### 「やりたい！」に挑戦できる職場！

田嶋 麻実(老人保健施設りは・くにくさ 管理栄養士)

「食に力を入れているところで働きたい」と思っていたので、あと会に就職を決めました。現在、念願だった、凍結含浸食の作成や研究にも携わらせて頂き、やりがいを感じています。また、行事に合わせた手作りの嚥下食や、料理クラブなど、「やりたい！」と言ったことを、積極的に挑戦させてくれる雰囲気があります。ご利用者との関わりも多く、食事の感想を聞く機会も多いです。栄養ケアや発注業務といった管理栄養士業務以外にも、あと会でしかできない多くの経験ができると思います。



### 味にも見た目にもこだわった食事を！

石田 萌(介護つき有料老人ホーム・特別介護老人ホーム でじま・くにくさ 調理師)

私達が作っている食事がご利用者様の命に直接関わっていることを強く感じながら日々仕事をしています。

ご利用者様と顔を合わせる機会は少ないですが、出会うと必ず「いつもありがとう」や「おいしかったよ」と声をかけて頂きとても励みになっています。

毎日の食事を楽しみにされているご利用者様に喜んで頂けるよう、味にも見た目にもこだわりを持って努めてまいります。



# 食事

『安心』かつ『安全』な手作りをモットーに  
美味しく健康的な食事作りをしています。

食材の仕入は、品質、産地に至るまで厳選し、保存料や添加物のより少ないものにこだわり、当厨房での手作りをモットーに、『安心』かつ『安全』な食事の提供に努めております。ご利用者に、快適に・こころ豊かに過ごして頂けるよう、食事にも身体ケアと同様、力を入れております。



## おせち

例年、くにくさの施設では1月1日～2日には年賀のお祝い膳として、おせち料理を入所者様に振舞います。栄養課職員は1年の健康を祝い、心をこめて調理しています。おせち料理の中には年末についてお餅が入ります。また、凍結含浸の技術を使用し、嚥下状態が低下している方でも、食べていただけるようなおせち料理も調理しています。

## ごちそうグランプリ

年に1度繰り広げられる、若手調理員の登竜門。  
若い才能がしのぎを削る大舞台です。

毎年、ふかわ・くにくさの秋祭りにて若手調理員の育成もかねてごちそうグランプリを開催しております。テーマを決め、それに沿った料理を披露し、当日、ご来場の方々にお気に入りの料理を投票していただけます。



昨年度グランプリ獲得  
ふかわチーム

竹内 幸子(左)  
金子 沙織(中)  
世羅ゆみ香(右)

今回のごちそうグランプリのテーマは、“豚肉”を使った料理でした。3人がそれぞれの意見を出し合い、試作を繰り返し、レシピを見直したりと納得いくまで試行錯誤しました。そして、自信が持てる料理を作り、本番では1位を獲得することができました。とても嬉しく、一生懸命頑張ったよかったです。この料理を献立に入れてもらい、ご利用者さんに“美味しい”と言って笑顔で食べてもらったことで今の私たちには、やりがい、自信に繋がっています。

## 凍結含浸法

ミキサー食から、凍結含浸食へ  
チームで食のバリアフリーに挑戦しています。

凍結含浸法とは、酵素の力を使って食材の形を崩さずに硬さを調整する技術です。通常、食事形態は、普通食・刻み食・極刻み食・ミキサー食など段階的にありますが、極刻み・ミキサー食は形がなくなっているため、何を食べているか分からないという問題点があります。凍結含浸食は、形を保ち、色・味・香りを損ねず作ることができます。凍結含浸食は、箸でつまんで食べることが可能です。箸を使うことで脳の活性化にもつながります。



介護食の分野におきましても、広島県食品工業技術センターとの共同研究により、硬い素材を形あるまま柔らかく調理できる、次世代の介護食『凍結含浸食』の研究、導入をしております。いつまでも「食べる」ということを楽しんでいただける食事を皆様にお届け出来るよう栄養課一同取り組んでおります。



## 秋庭 絵美

特別養護老人ホームくにくさ  
管理栄養士

広島女学院大学で栄養学を学び、現在はあと会にて、栄養課主任として、利用者の食事の管理、厨房スタッフと管理栄養士の業務管理を行っている。また、教育関係者等に凍結含浸食などのあと会の食事に関する取り組みの講義、地域の方々への栄養指導も行っている。

経歴

## 真空低温調理法

『安心』と『安全』にこだわり、  
食べやすく美味しい料理を提供します。

平成13年より導入している真空低温調理法は衛生管理面で優れているとともに、素材本来の風味やうまみを逃がさず柔らかくジューシーに仕上げることができ、ホテル並みのおいしい料理の提供を可能にしました。

また、ご利用者一人おひとりの好みや体調を考慮した料理がつくりやすいことも大きな特長です。



あと会では、介護食を超える介護食をめざし、活性酸素や細菌類が発生しにくく、ビタミン、ミネラルなどの、人の体に必要な栄養素の壊れにくい調理法でもある真空低温調理法を導入しております。



## 佐藤 俊郎

あと会グループ総料理長  
新フード開発プロジェクトスーパーバイザー

ホテルセンチュリー21広島 料理長  
東京電力業務用電化厨房体験施設 料理長  
日本エスコフエ協会 ディシプル受賞(2010)

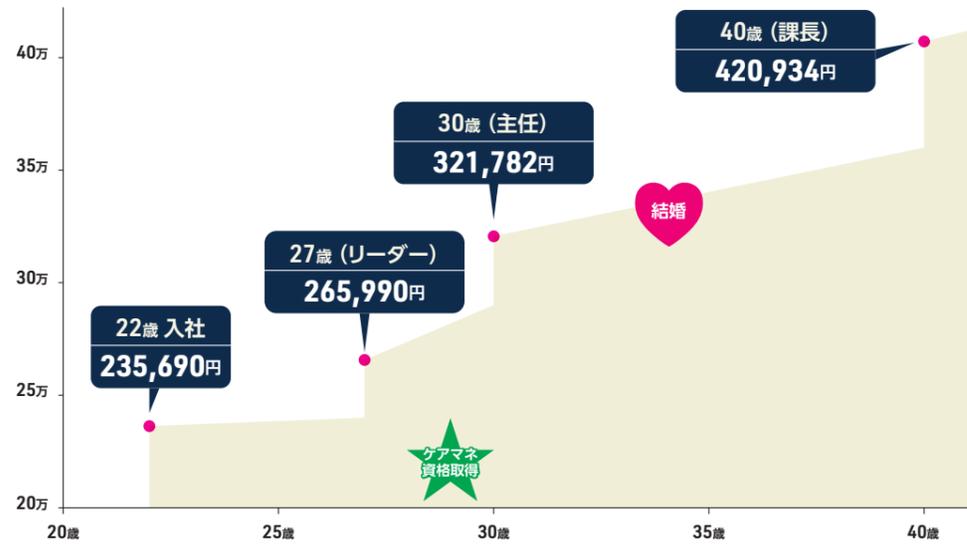
経歴

# 給与と福利厚生

「夢や理想を叶えたい」「豊かな人間関係の中で仕事がしたい」就職先への様々な期待や希望を抱く中、とはいえ就職先の処遇面も気になる所です。「頑張ったらどうなるのか?」「10年後どのくらいもらえるんだろう?」初任給も大切ですが、将来の人生設計をする上でモデル賃金表はやはり欠かせません。

## モデル賃金

介護職(介護福祉士) 管理職コースのモデル賃金表



## あと会給与体系

給与	■ 介護職	介護職員初任者研修修了者/月給 188,000円 介護職/月給 197,500円 (院卒・大卒) ※福祉系大学 介護福祉士/月給 210,000円 (院卒・大卒・高専卒・専門卒・短大卒) ※上記支給額には夜勤手当、遅出手当は含まれていません
	■ 社会福祉士	社会福祉士/月給 222,000円 (院卒・大卒)
	■ 管理栄養士 ■ 栄養士 ■ 調理師	管理栄養士/月給 202,000円 (院卒・大卒) 栄養士/月給 177,000円 (院卒・大卒・短大卒) 調理師/月給 168,000円
※職種手当 (資格手当)、処遇改善手当を含む。		
諸手当	■ 資格手当	介護福祉士 13,000円/月、社会福祉士 40,000円/月、介護支援専門員 40,000円/月 特定認定行為業務従事者認定者 (経過措置を除く) 3,000円/月 調理師 10,000円/月、栄養士 10,000円/月、管理栄養士 20,000円/月 ※社会福祉士の資格手当は、相談業務に従事している者に限る。 ※特定認定行為業務従事者認定者 (経過措置を除く) 手当は、介護福祉士の資格手当に加算可能。
	■ 夜勤手当 (4,000 ~ 5,000円/回)	
	■ 処遇改善手当 (介護職) (25,000円/月)	
	■ 介護職員等特定処遇改善手当 介護職/10,000円 介護職以外/5,000円 (リハビリ職は除く)	
	■ 通勤手当 (上限 30,000円/月)	■ 家族手当
昇給	■ 年1回 (4月)	
賞与	■ 年2回 (6月、12月) 昨年度実績 (3.0ヶ月)	
休日休暇	■ 1ヶ月単位のローテーション勤務 (1月あたり9日休み)・年次有給休暇・育児・介護休業制度・慶弔休暇	
保険	■ 健康・厚生年金・労災・雇用	
福利厚生	■ 退職金制度 ■ 育児・介護休業制度	
	■ 新人研修、階層別・職種別研修、全員参加研修、海外研修 (スウェーデン)、カープ観戦	
	■ ひろしま保育・介護人材サポート事業 (年間 12,000円のお買物券の配付等)	

■ 介護職員等特定処遇改善手当  
令和元年10月の介護職員等特定処遇改善加算算定に伴い、各専門職に対して、手当の見直しを行いました。介護職では10,000円アップしております。

## 福利厚生

仕事も家庭も充実してもらいたい。  
スタッフが働き続けることができる様々な取り組み。

### カープ観戦

仕事だけの生活ではなく、あと会では仕事以外の時間を大切にしたいという想いがあります。その一環として、福利厚生として、年間指定席を5席 (年間360席) 購入しております。職員さんには希望者を募り、抽選でチケットをお渡ししております。職員間で一緒に野球観戦したり、家族と一緒に野球観戦したりと、広島の名物であるカープと一緒に応援しましょう。



### 買い物補助券

あと会では職員の福利厚生のために、「ひろしま保育・介護人材サポート事業」に参画しております。職員さんには年間12,000円の買い物券を4回に分けて支給しております。近くのスーパーでも使えるために、日常生活の強い味方となっております。

保育・介護のお仕事を担う皆様のための福利厚生サービス  
**ひろしま保育・介護人材サポート事業加盟**

- ① 買い物補助券年間12,000円と各種サービスが利用できます!
- ② 市内のスーパーマーケットなど170以上の店舗で日々のお買い物に利用できます!
- ③ 保育・介護職以外やパート社員も加入できます!

### こども・くにくさ

人生の多くの時間を仕事に費やすこととなりますが、人生は仕事だけでなく、家庭のこともあります。「子育てしながら仕事をしたい」「仕事もあるが、親の介護をしなければならぬ」など、それぞれの人生において様々な事情が重なり、悩むことがあると思います。あと会では働くママさんでも働きやすいようにという思いで、一部の施設には託児所を設置しております。朝お子さんを託児所に預けて、帰りにすぐ迎えに行くことができます。



### カレーの日

あと会自慢の「安心」かつ「安全」な食事を利用者だけでなく、職員さんにも楽しんでいただきたいため、カレーの日を準備しております。あと会秘伝のレシピでいただくおいしいカレーをお楽しみいただけます。



## 採用情報

STEP 1

就職説明会、施設見学、インターンシップ

STEP 2

エリアの希望

STEP 3

選考 面接、筆記試験 (作文)

随時  
選考中

人物重視の  
選考を行います!

※複数数が応募される職種に関しては、書類選考などはさむ可能性がございます

私たちが皆様の就職活動をサポートします! 担当者名: 岡崎祐子、鶴田毅彦、荒川貴史、萩坂直己



問い合わせ先

082-856-0222  
kunikusa@fch.ne.jp



お問い合わせ先

---



医療法人社団・社会福祉法人あとも会グループ

〒731-4231 広島市安芸区阿戸町418-1

TEL:082-856-0222(代表) FAX:082-856-0115

<http://kunikusa.or.jp/>

もっと詳しく知りたい方は

